

北海道マラソン2026

【出場結果】

実施日：8月30日（日）

コース：大通公園西4丁目（駅前通）～中島公園～新川通（折り返し）～北海道大学～大通公園西4丁目（駅前通）（日本陸上競技連盟、WA/AIMS 公認コース 42.195km）

出場者：加藤 平

出場種目・出場者・リザルト

氏 名	加 藤
タイム	2:23'03"
順 位	41 位 / 18,607 名

【レポート】

北海道マラソンは日本国内で唯一、夏に開催される大規模なフルマラソン大会として位置づけられ、今回は2028年ロサンゼルス五輪のマラソン代表選考につながるMGC（マラソングランドチャンピオンシップ）の出場権を争うシリーズにも指定されており、例年以上に全国から有力ランナーが集結し、ハイレベルなレースとなりました。

当社からは、夏のマラソンに初めて挑戦する加藤が出場し、当日はスタート時の気温が20℃と、夏場のレースとしては比較的走りやすいコンディションとなり、午前8時30分、全国から集まったランナーとともに一斉にスタートしました。



MGC 出場権を懸けた有力選手が集結した今年の北海道マラソン

レースは、ペースメーカーが 1km あたり 3 分 5～6 秒の設定タイムで先頭集団を牽引。

加藤もそのペースに合わせ、先頭集団についていきます。

15km までは表情にも余裕があり、集団の中でゾーンに入ったかのように集中して集団の中でペースを刻みます。

その後、札幌市を流れる人工河川「新川」に沿った直線道路に入り、20km 手前に差しかかると、加藤は徐々に先頭集団との距離が開き始め、表情にも苦しさが見え始めます。



先頭集団のペースに合わせてピッチを刻む加藤

25km 過ぎの折り返し地点では、先頭との差は約 1 分 20 秒。

単独走が続く中、25km 以降は強い向かい風が選手たちを苦しめます。

加藤も強風に苦しめられ、25km 以降は大きくペースを落としながらも、必死に身体を前へと運び続けます。

例年の北海道マラソンでは、終盤の厳しい暑さに選手たちが苦しめられますが、今年は強い向かい風が選手たちの行く手を阻みました。

加藤も 30km 以降は苦しい走りとなりましたが、最後まで諦めることなく、ゴールを目指して懸命に走り続け 2 時間 23 分 3 秒でフィニッシュしました。

ShinDengen /



終盤は強い向かい風に苦しむも最後まで力走をみせた加藤



今回の経験を次に繋げて欲しいと思います

【総 評】

これまで数々のマラソンレースに出場し、結果を残してきた加藤ですが、先頭集団のペースに合わせてレースを進めることは、これまで決して多くありませんでした。

今回の北海道マラソンでは、上位を見据えた走りを描く中で、先頭集団のペースに果敢に挑み、攻めの走りを見せてくれました。

結果として、25km以降は苦しい展開となりましたが、これまでのレースとは異なるスタイルで前半から積極的にレースを進めたことは、加藤にとって大きな経験となったと感じます。

次は、チームとして目標に掲げる11月15日開催の東日本実業団駅伝に向け、コンディションを整えていくことになります。

駅伝でも、加藤の走りはチームにとって重要なウェイトを占めることとなりますので、今後の走りにもぜひ注目いただき、温かく見守ってください。

引き続き、皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

以 上

画像提供:ELDORESO 阿久澤様